

資料1	令和5年9月26日
	第32期青少年問題協議会 第2回専門委員会

豊島区子どもの実態・意識に関する調査の質問項目の検討

調査項目の精査

- ① 豊島区青少年問題協議会
- ② 豊島区子どもの権利委員会
- ③ 豊島区子ども・子育て会議

以上3つの会議体で質問項目の検討を実施。委員からのご意見をふまえアンケート調査票の再構築を行った。

【主な変更点】

1. 表紙の変更

「答えることで自分にどんなメリットがあるのかがわかりづらい」「文字が多すぎる」「回答にどのくらい時間がかかるかわからない」というご意見を受け、表紙に載せるべき内容を精査し、変更した。

2. 分量の削減

「質問票の文字量が多い」「回答率に影響する」とのご意見を受け、区の施策に結び付きにくい質問や、他の質問と統合できる質問を整理し、分量の削減を図った。

また内閣府や東京都、他自治体の調査も参考に精査した。

別紙削除リストに掲載されている質問で、削除すべきでない質問があれば再度調査票に入れることを検討する。

3. 委員の皆様のご意見を反映した質問に変更

委員の皆様からのご意見を反映し、質問の聞き方や選択肢等を変更。回答者にとってなるべく答えやすい聞き方にしている。

4. 中学生の調査票を小学生に統合

内閣府の調査に合わせ、中学生の調査票を小学生の調査票に統合した。

(前回調査時は中学生の調査票は高校生の調査票と統合していた。)